

社会資本整備事業調整費（調査の部）平成19年度調査概要

調 査 名 等	調 査 概 要
浅海化・干潟化による影響緩和のための一体的な基盤整備方策検討調査	<p>内湾の湾奥部においては、陸域から土砂の供給が一定して存在する一方、海流などによる外部への移送が少ないため、一般的に浅海化・干潟化が進むが、進展が著しい場合、水質・底質の悪化やゴミの滞留、漁場機能の低下・喪失、背後農地の排水不良、船舶の航海安全等、地域の生活環境・産業基盤に様々な悪影響が生じる。</p>
[配分額] 85,014千円 [担当府省] 農林水産省 水産庁 国土交通省 林野庁	<p>八代海北部海域においても、干潟化・浅海化に伴う漁場環境の悪化が見られ、平成18年7月の集中豪雨に際しては、発生した低塩分水塊が同海域に滞留したことにより、重要資源であるアサリの大量斃死が発生するなど大きな問題となった。また、排水樋門の機能維持・管理や流木等の浮遊ゴミ回収の効率化のほか、漁場保全等を観点とした森林整備等も課題となっている。</p> <p>本調査では、各省庁が連携して上記の課題に対応すべく、八代海北部海域をモデルとし、浅海化・干潟化の現状、影響、要因について詳細な調査分析を行うとともに、その影響緩和対策としての一体的な関連基盤整備方策等について検討を行い、同様の問題を有する各地の先進事例としてとりまとめを行う。</p>
【問合せ先】水産庁漁港漁場整備部計画課企画班 tel.03-3502-8111（内線6844）	

府省欄の下線部は、当該調査における幹事府省を示す。